現行 (555文字)

W3C は Web 技術の標準化と推進を目的とした会員制の国際的な産学官共同コンソーシアムです。アメリカ合衆国マサチューセッツ工科大学計算機科学人工知能研究所 (MIT CSAIL)、欧州情報処理数学研究コンソーシアム (ERCIM)、慶應義塾大学、北京航空航天大学 (Beihang University) がホスト機関となり 28 年にわたり運営してきましたが、2023 年 1月に公益非営利組織として再始動しました。新組織では、会員主導のアプローチとグローバル組織との既存の協力体制からなる両輪を基軸として、既存地域分布にとどまらない全世界にわたる会員によるグローバルな運営を目指しています。すでに400を超える組織がコンソーシアムの会員として参加しており、日本からは30以上の組織が参加しています。

W3C 会員、W3C チームスタッフ、加えて国際社会からの貢献を基盤とし、真のグローバル組織としてオープンなWeb の標準技術の開発を継続していくことで、Web を推進していくという社会からの寄託と使命を守り続けます。また、W3C 会員や一般向けに、開発者及び利用者のための World Wide Web に関する豊富な情報の提供・発信、そして新技術を活用したプロトタイプやサンプルアプリケーションの提供を含む情報発信を一層強力に推進していきます。

案(表面W3Cロゴ近辺枠囲み) 468文字 (目標300-400程度)

W3C – World Wide Web Consortium – はWeb技術の標準化と推進を目的とした会員制の国際的な産学官共同コンソーシアムです。会員主導のアプローチとグローバル組織との協力体制からなる両輪を基軸として、全世界にわたる会員によるグローバルな運営を目指しています。400近い組織が会員として参加しており、日本からは30以上の組織が参加しています。W3C会員、W3Cチームスタッフ、加えて国際社会からの貢献を基盤とし、真のグローバル組織としてオープンなWebの標準技術の開発を継続していくことで、Webの推進という社会からの寄託と使命を守り続けます。

W3Cの主な活動は、技術仕様や指針を勧告(Recommendation)として策定、標準化することです。業界標準として幅広く普及するXML、HTML、CSS、SVGなど、Webの核となる多くの技術はW3Cによって策定、標準化されました。また、次の命題を掲げてユニバーサルアクセスの実現に努めています。

* One Web –
* Leading the Web to its Full Potential -